



ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を



会長：大塚 博巳 副会長：池ノ谷 敏正 幹事：森下 敏顯 副幹事：鈴木 舜光

第2022回

- ソング 我が藤枝ロータリー
- ソング リーダー 大塚 高弘君



写真提供：櫻井 龍太君

会 長 報 告

大塚 博巳君

先週の例会（日程・会場変更）は「藤枝、焼津4R Cの合同例会」として焼津グランドホテルにて開催されました。参加して頂いたメンバーの皆さんお疲れ様でした。

初めての試みであり時間も少なかったため、十分な情報交換ができなかったかもしれませんが、第一部で自己紹介、第二部の交流会で楽しくできてよかったと思います。志太という地域で、“事業を営み・生活しているロータリアン”が一堂に会し、例会・懇親会を通して、情報交換することに意義があります。ロータリー活動はもちろん、ビジネスに繋がっていただきたいと思います。

今後、「ロータリーの多様性」を発揮するため、継続して開催することを願っております。

あと数日で“師走”を迎えます。例年、盗難事件・強盗事件等の犯罪が増え、火災も多発する時季でございます。

先週末には、東部方面で2件の住宅火災が発生し、富士宮では高齢の方が亡くなっております。

火災は一瞬にして、住居、財産を灰にしてしまい、時には人の生命まで奪います。

不運にも夜間の就寝中では「煙に巻かれて命を・・・」ということになります。

皆さんのお宅の、住宅用火災警報器は正常ですか？ 今一度点検と、具合悪い場合には取り替えるなど、対策を講じておくことが賢明です。もしもの時家族の命を守ります。

以前話をしましたが、改正消防法で住宅用火災警報器の設置は静岡県条例（既設住宅においては平成20年6月）で義務付けられております。新聞によると、現在の静岡県の「住宅用火災警報器」の設置率は72%と低い方であります。

今後、寒さは本番を迎えます。会員の皆様には健康にご留意の上、ご自愛戴きたいと存じます。

ロータリークラブの用語について

【ロータリー情報集（2005～2006）より抜粋】

72、喫煙

個人の健康に有害であることを認識し、R I の名の下で開催される会合や行事においては、喫煙を控えるように推奨されている。

（2001年規定審議会）（国細2、040）と但し書きがあります。

73、規定審議会

R I の立法機関である。

クラブ、地区大会、R I 理事会、規定審議会、R I B I（アイルランド内国際ロータリー）審議会または大会等が提案した制定案と決議案を審議決定するため、3年にいちど、4月・5月・6月、できれば4月に開催される。クラブ提出の立法案は、地区大会またはR I B I 地区審議会で審議されたこと。

・構成は、各地区から1名の投票権を有する地区クラブ代表議員、以下投票権を有しない3名以下の特別議員、R I 定款・細則委員会の委員長および委員、R I 会長・会長エレクト・他の理事会メンバー、事務総長、元R I 会長全員

・賛成および反対の声明：クラブ、地区大会、R I B I の審議会または大会、規定審議会、R I 理事会は審議会に提案された立法案について賛成、反対の声明を出すことができる。

以上、会長報告といたします。

幹 事 報 告

森下 敏顯君

- 第2620地区より

12月のロータリーレートのお知らせが届

いております。 1ドル＝100円です。

- 第2620地区より
2013年度ロータリー友情交換プログラム募集の案内が届いております。
- 第2620地区より
2104年度ロータリー国際大会参加募集と第2620地区ナイトのご案内が届いております。
- 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より
ハイライトよねやま164号が届いております。
- 一般財団法人比国育英会バギオ基金より
バギオだよりが届いております。
- 藤枝市国際友好協会より
会報が届いております。
- 小杉苑より
忘・新年会、おせち料理の案内が届いております。
- ザ・ロータリアン誌11月号が届いております。

■ 出席報告

久島 正史君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
35/43 81.40%	27/42 64.29%

(1)欠席者（事前連絡とメイクアップをどうぞ）

○河井君 ○鈴木舜君 ○大長君 ○間野君
○山田君 大杉君 落合君 仲田晃君

(2)メイクアップ者

河井 宏文君（焼津南） 松葉 隆夫君（藤枝南）
杉山 静一君（藤枝南） 櫻井 龍太君（藤枝南）
大長 昭子君（藤枝南）

■ スマイルBOX

- 今朝の静岡新聞に菊川南陵高校の紹介広告が載りました。受験生が増える事を希望します。森下 敏顯君
- 新婚旅行以来まとまった休日をいただきました。リフレッシュできたかな？

池ノ谷 敏正君

スマイル累計額 89,000円

■ 委員会報告

柳原 寿男君

『PM2.5について』

大気中に浮遊している2.5 μ m以下の非常に小さな粒子のことである。

物の燃焼、例えばボイラー、焼却炉、家庭のストーブや調理、煙突や自動車の排気ガスが発生源になるものと、黄砂、火山など自然由来のものがある。大気中で化学反応により生成するものもある。

鼻や口腔から吸入されると気管、気管支を通り肺胞に至り、炎症を起こして呼吸器疾患（喘息、気管支炎、肺気腫等）や心疾患（心筋梗塞、心不全）のリスクとなる。

■ テーブルメイトC担当卓話 江崎 晴城君

「ロータリーの友」11月号に4月に行われた福島県南分区のIM講演会の内容が掲載されました。スピーチの原稿を寄稿したのは、福島県天栄村産業振興課の吉成さん。食味鑑定を通して10年来の知人です。いままで、復興に向けた天栄村の苦労を話してもらう機会がありませんでしたが、記事を読みブランド米「天栄米」づくりを通じた、あきらめない取り組みを改めて知ることとなりました。藤枝ロータリーでは40周年に寄付を含めた東日本大震災復興への取り組みをいち早く実行しておりますし、地域の復興に対する関心の風化を止めるためにも、天栄米の話をさせていただくことに決めました。

天栄村は全国で12自治体しか認定を受けていない環境王国の一つです。ミネラル豊富な水源と水芭蕉が咲く自然豊かな村で、村のコメ農家のグループは安心して安全な、日本一おいしいコメ作りを目指し、おいしい米を競う「米・食味分析鑑定コンクール」で3年連続金賞受賞者を出すまでになっていました。村には東京のデパートや各地の消費者から注文が来るようになり、目指してきた米作りがようやく軌道に乗り始めた矢先の今回の事故がおきてしまいました。

今年宮城県七ヶ宿町で開催された「米・食味分析鑑定コンクール・国際大会」において約4000のなかから、天栄米は6年連続日本一に輝きました。原発事故による放射能汚染、風評被害に立ち向かい、安心して安全なお米づくりを直向きに作り続ける生産者たちの努力が実を結んだのです。

この卓話が、福島のあきらめない、負けない粘り強い気持ちを改めて感じると同時に、被災地に思いをはせる機会となれば幸いです。

（担当／池谷君）